

活気と潤いがあり、みんなが「育つ」学校を目指して

自分の一歩 みんなの一歩

校長室だより II

朝霞市立朝霞第一小学校

令和3年5月26日

№17 (合同№5)

校長 野口 邦彦

動きながら考える

まずは色々を使ってみるところから

各クラスにタブレットが配布され、学校の様々なところでタブレットを使っている子ども達を見かけるようになりました。

タブレットを使わせる上では、先生方も、心配されること、不安な事、確認したいことなどもたくさんあると思います。本来なら、それらを全て解決してから、運用を始めたいのですが、昨今の新型コロナの状況を見ていると、そんなことは言ってもらえない状況もあります。何よりも、タブレットが配られた時の、ワクワク感で、子ども達の輝く表情を見ていると、このアイテムを使わない手はないと思います。児童に使わせながら、先生方も使いながら、「こんなことができる」「こんなことは共有した方がいいのではないか」「こんな点は注意した方がよい」ということがたくさん出てくると思います。

まずは「動きながら考える」実践を通しながら、みんなでより良い運用の仕方を模索できればと思います。

算数の授業で



電源を入れただけで、画面が切り替わった「オッー」という歓声上がる低学年に対して、高学年は個人差はあるにせよどんどん使いこなしているようです。ただし、使い方と同時に、情報モラルを教えていく必要性は感じます。いずれにしても、子ども達の可能性を広げるアイテム、これからもみんなで研究していきましょう。

理科の授業で



体育の授業で



国語の授業で



追伸

タブレットは便利な道具であると同時に、使い方によっては、知らぬ間に人を傷つけてしまったり、犯罪に手を染めてしまったりする道具でもあります。こんな両面があることを考えさせながら、使わせていきましょう。これについては、また今度。

ネットの向こう側をイメージする

SNS社会だからこそ、見えないものを見る力が大切です。